

花巻図書館への提言

知の泉 豊かな^{とき}時間出会いの広場

平成24年10月

花巻図書館整備市民懇話会

提言

花巻図書館基本コンセプト

郷土の歴史と独自性を大切にし、豊かな市民文化を創造する図書館

花巻市では、数多くの輝かしい功績を遺した先人たちを輩出しています。この先人たちを顕彰し、次代を担う子供たちにその精神を継承し郷土を愛する心を育むことができるよう、郷土資料や先人たちの資料を充実すべきと考えます。

すべての市民が親しみやすく使いやすい環境に配慮した図書館

図書館は、幼児から高齢者、障がい者の方すべての市民が気軽に利用できる施設であるべきです。

自然と調和し、明るくゆったりしたスペースであり、「読書をする」ことはもちろんのこと、くつろぎの場、交流の場であるべきと考えます。

暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館

これからの図書館は、読書を支援するだけでなく、地域の情報を得る場、市民の生活、仕事、教育、産業など各分野の課題解決を支援する図書館であることが望ましいと考えます。そのためには、市民一人ひとりのニーズに応じ広範囲な分野にわたった資料や、レファレンス機能の充実が必要です。

花巻図書館キャッチフレーズ

知の泉 豊かな^{とき}時間出合いの広場

◇花巻図書館の現状と課題

現在の花巻図書館は、昭和48年7月に開館しこれまで40年にわたって市民に閲覧・貸出・リクエストサービスを行ってきました。しかし施設の老朽化が進み、現在は暗い、古いというイメージが定着し、また室内配置が悪い、体の不自由な方や高齢者、幼児にとって施設的に対応が不十分である、蔵書も増えたため閲覧スペースが狭いなど様々な改善が求められている状況です。

また利用者の来館形態も時代とともに変化し、自家用車を利用して訪れる方も増えたため、駐車スペースも隣接の施設と共用のため手狭になっています。

生涯学習の施設として、図書館の役割がますます重要視されるようになってきた今日、知識の向上や心の豊かさを求める市民のニーズに、的確に対応できる図書館機能とサービスの充実に向けての取り組みが求められています。

これらの現状を踏まえて、これからの花巻図書館は従来の閲覧・貸出・リクエストサービスを継続しつつ、新たな視点からの取り組みを実施することが必要です。

●施設の現状

- ・建物が古いため、構造的に不安（災害など）
- ・狭いため閉塞感がありリラックスできない。展示やテーマ展等ができるスペースが無い
- ・利用者の動線を考えた場合利用しにくい。部屋の配置が利用しにくい形態になっている
- ・2階が閲覧室であるが、エレベーター等の設置もないので高齢者や子ども、障がい者には不便である。バリアフリー対応が少ない
- ・閉架図書が多いので利用者には不便である
- ・駐車場が狭い、冬季は凍結し危険である
- ・接続道路が狭い
- ・場所が分かりにくい（案内表示が少ない）
- ・荷物置き場が少ない

●蔵書資料

- ・視聴覚資料が少ない
 - ビデオライブラリーが古い
 - 視聴覚スペースが狭い
- ・郷土資料・新聞資料が多いが探しにくい
- ・ビジネス資料の充実
- ・閉架図書が少ない

- ・地域の資料、中高生向けの本、専門書などが不足
- ・地元の先人の資料が分散している

●運営とサービス

- ・書籍が見つげにくい
- ・図書館ボランティアの活動が見えにくい
- ・利用者のニーズにあった開館時間や貸出冊数、休館日の設定
- ・図書館からの情報発信が弱い

◇目指す図書館を実現するためのサービス

図書館の役割として基本的なサービスに加え、利用者の様々な要求に対して資料を提供できるよう、資料整備や情報の収集が必要です。現代社会や、地域課題を捉え関係する資料を提供できる図書館であるべきです。また、来館者に対してだけのサービスにとどまらずに、図書館から情報の提供やイベント等の企画を発信することにより、より多くの人々が集まる図書館になります。

●レファレンスサービスの充実

- ・コンシェルジュサービスの導入

(本のことだけでなく、イベントやサークル、講座、その他、地域情報など多様な案内が可能)

●イベントのコーディネート力の充実

- ・企画力、運営力の充実
- ・図書館から発信する情報の工夫

●インターネット等を組み合わせたサービス

- ・新システムの導入（在宅利用など将来型図書館のコンピュータシステムの構築）
- ・M（ミュージアム）L（ライブラリー）A（アーカイブス）の連携を図る

◇図書館の役割を確実に行うための管理運営

継続性のある安定した図書館を運営するためには、現在の運営体制を基礎としながら、新たな図書館の役割を果たすための取り組みが必要です。

●図書館運営に市民が参画できる体制づくり

市民の持つ知識や技術を図書館運営に活かすことによって、さらなる充実を図ることができます。

図書館運営に市民の意見を積極的に取り入れることにより、行政だけでなく市民と共に考え育てる新しい「みんなの花巻図書館」の実現を目指すことが必要です。

- ・市民の意思を反映できる機会を設けることにより、利用者の視点に立った運営が可能になる
- ・児童、生徒の意見を取り入れる
- ・図書館ボランティアを活用する

託児や本の修理、読み聞かせ等にボランティアの協力と参加を求める。

また市民がどのような図書館ボランティアを必要としているのかを把握することにより、図書館ボランティアの養成を図る。

●他機関との連携による運営

市内関連施設（小・中学校・高校、富士大学、各種先人顕彰施設、美術館、博物館、まなび学園、資料館）や県内外の関連施設と連携することにより、利用者に対して専門的情報の提供を図ることができます。

また、子どもの読書活動推進への働きかけや調べ学習の支援として、学校との連携は必要不可欠です。

- ・学校との連携による読書活動・学習活動の推進
- ・博物館、美術館、資料館と連携した情報（資料）の提供

●図書館職員の育成

社会環境の変化に合わせて図書館の運営を進めていくためには、図書館経営の中心を担う、図書館長の職員配置や、予算等に関する権限を強化することが大切です。また図書館司書は、地域や住民の課題解決を支援するためのレファレンスサービスが提供できるよう、専門的知識を身につけることが必要です。

- ・図書館司書の専門性の育成（職員は司書資格を有していること）
- ・研修機会の充実

●図書館蔵書、資料

図書だけでなく地域資料等も収集し整備することは、地域文化の保存や地域の課題解決のために重要なことです。

- ・多岐にわたる資料の整備

（新聞、雑誌、地域資料、災害資料、先人資料、地域の機関や団体が発行している

記念誌、各学校の歴史資料など)

- ・視聴覚資料の充実

●市民のニーズに応じた開館体制

- ・開館時間の設定に柔軟性を持たせる
(利用者数に応じた開館時間の設定)
(夜間利用時間の延長)
- ・休館日をできるだけ少なく

◇目指す図書館を実現するための施設や機能（複合施設）

花巻図書館は市内各図書館の中央図書館的機能を担い、ユニバーサルデザインを意識し、全ての市民に充実した図書サービスがなされなければなりません、そのためには、資料等を一元的に管理し有効な活用を図るとともに、市内地域図書館や関係文化施設等との連携が重要です。

また、図書館は知の情報拠点とし、様々な課題の解決のために資料を提供することにより、市民の生涯学習活動やまちづくり活動を支援する施設でもあります。市民の自主的活動を進めるための場を併設することが望ましいと考えます。

●市内中央図書館として役割

- ・市内各地域図書館資料の一元的管理と関係文化施設（博物館、美術館等）との連携
- ・図書館のハイブリッド化（印刷資料とインターネット等を組み合わせた高度な情報提供等）

●複合施設としての図書館

<性格>

- ・「まちづくりの拠点」「産業文化の核施設」「観光施設ともなりうる」図書館
- ・交流ふれあいの場
誰でも利用しやすい交流スペース。
待ち合わせ場所となるような施設。
花巻らしい外観 シンボリックなエントランスを備える。(文化財等)
- ・滞在型図書館
自然環境を配慮し、快適性を兼ね備えているくつろぎのスペース。

<具体的内容>

- ・催事ホール（映画上映、コンサート、ギャラリー、伝承芸能音楽発表等）
- ・オープンスペース（自然観察会、星空観察）
- ・先人顕彰、歴史文化研究（先人資料の常設展示、歴史文化研究センター等）
- ・市民の活動室（会議室、研修室、ボランティアルーム、各種講座やサークル活動）
- ・児童、生徒の学習スペース
- ・子ども室（幼児対象、少々騒いで本を読んでも、迷惑にならない子ども読書ルーム）
- ・お茶などが飲めくつろげる喫茶室

◇望ましい立地について

図書館は幅広い年代の方が気軽に利用でき、一般の利用者だけでなく、体の不自由な方、高齢者等にとっても利用しやすい場所であるべきと考えます。

誰もがわかりやすく、十分な駐車スペースの確保が可能である場所、交通弱者（自家用車等を持たない公共交通機関に頼らざる得ない方）にとっても、訪れやすい場所であることが望まれます。

また、利用者が多く訪れ、安らぎの得られる施設として、緑が多く自然環境を兼ね備えた場所であることが望ましいです。

- 公共施設と隣接した場所（まなび学園、市役所、文化会館など）
 - ・他の公共施設の特性に応じた相乗効果が期待できる
 - ・市民になじみがある（学びの場というイメージにより合致するのではないか）
 - ・わかりやすい場所であり、交通アクセスも良い
- まちづくりや都市計画を意識した立地
 - ・都市計画に合致する場所
- 交通アクセスの良い場所
 - ・車を利用しない方、子どもや高齢者が利用しやすい場所

（印）
（印）
（印）

〇〇〇〇〇〇〇〇

（印）
（印）
（印）
（印）

（印）

（印）

（印）

（印）

（印）

資 料

- 花巻図書館整備市民懇話会経過報告
- ワークショップ結果
- 花巻図書館整備市民懇話会委員名簿
- 花巻図書館整備市民懇話会設置要綱

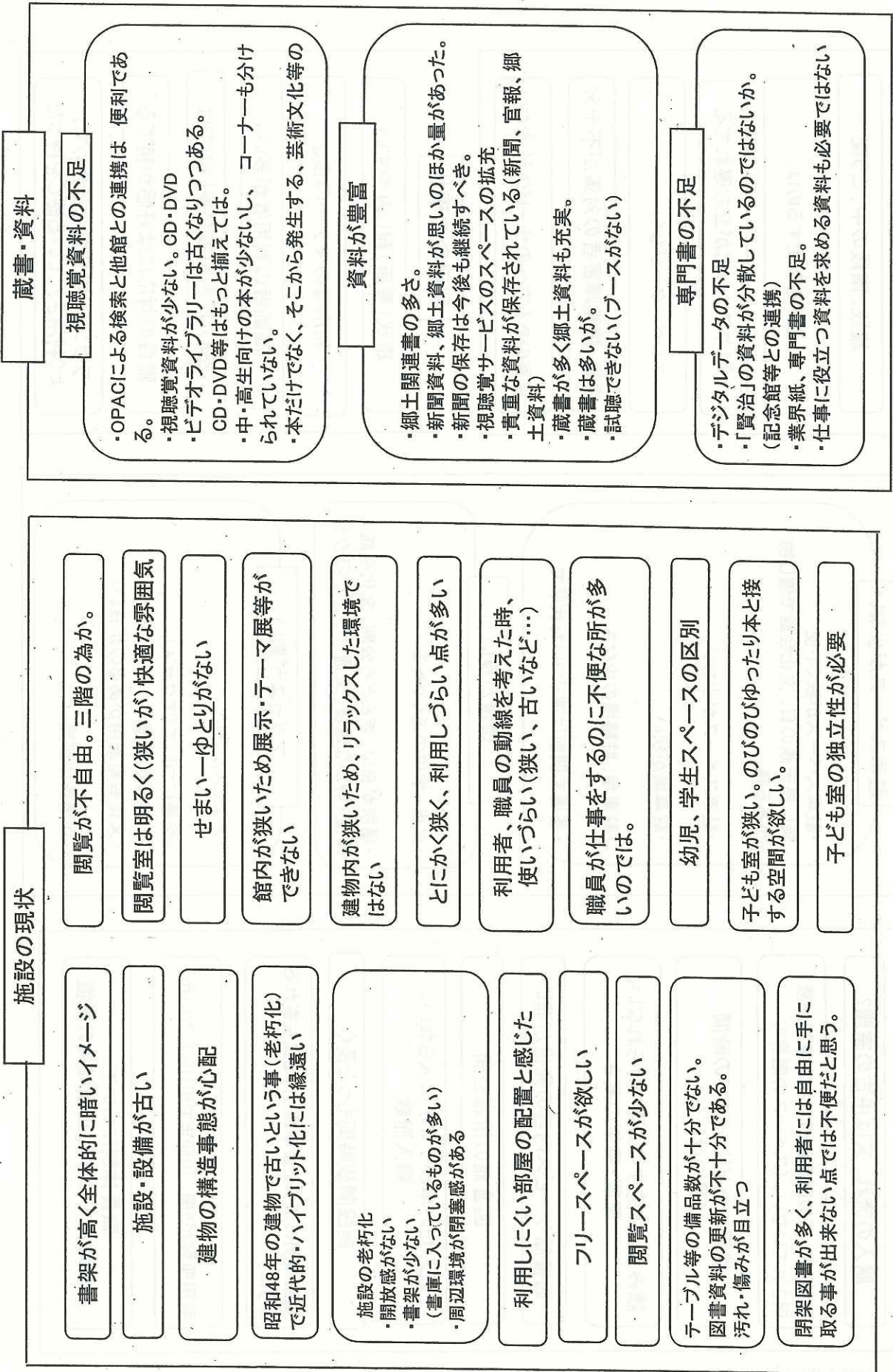
花巻図書館整備市民懇話会経過報告

| 日 時 | 内 容 |
|--|---|
| 第 1 回懇話会 平成 23 年 12 月 12 日 14 : 00 ~ 16 : 20 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民懇話会設置要綱について ・ 座長および副座長の選出 座長 菊池 豊 (公募委員) 副座長 坂本知彌 (図書ボランティア団体) ・ 講演 青森県三沢市立図書館長 望月健男 氏 「図書館の可能性～市民がつくる図書館というけれど・・・」 ・ 花巻市内図書館の現状について 花巻図書館長より説明 |
| 第 2 回懇話会 平成 24 年 1 月 24 日 13 : 30 ~ 16 : 00 | ワークショップ (委員 2 班に分かれ実施) <ul style="list-style-type: none"> ・ 花巻図書館の現状と課題 ・ 花巻図書館の基本コンセプト (目指す図書館の姿) |
| 第 3 回懇話会 平成 24 年 2 月 21 日 13 : 30 ~ 15 : 30 | 協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 花巻図書館基本コンセプトのまとめ ・ 花巻図書館「キャッチフレーズ」について |
| 第 4 回懇話会 平成 24 年 4 月 17 日 13 : 30 ~ 15 : 15 | 協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 花巻図書館基本コンセプト (案) について ○郷土の歴史と独自性を大切に、豊かな市民文化を創造する図書館 ○すべての市民が親しみやすく使いやすい環境に配慮した図書館 ○暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館 ・ 花巻図書館「キャッチフレーズ」(案) について |
| 第 5 回懇話会 平成 24 年 5 月 8 日 13 : 30 ~ 15 : 30 | 協議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 花巻図書館「キャッチフレーズ」(案) ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・ 目指す図書館を実現するためのサービス |
| 第 6 回懇話会 平成 24 年 6 月 19 日 13 : 30 ~ 15 : 30 | ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の役割を確実にを行うための管理運営について ・ 目指す図書館を実現するための施設や機能 (複合施設) |

| 日 時 | 内 容 |
|--|---|
| <p>第7回懇話会 平成24年7月10日 14:30~17:00</p> | <p>ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望ましい立地について ・その他 <p>(花巻図書館基本コンセプトについて)</p> <p>以下の3点で決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○郷土の歴史と独自性を大切にし、豊かな市民文化を創造する図書館 ○すべての市民が親しみやすく使いやすい環境に配慮した図書館 ○暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館 <p>(花巻図書館「キャッチフレーズ」について)</p> |
| <p>視察研修 平成24年7月27日</p> | <p>○視察先 秋田県由利本荘市中央図書館 (文化交流会館カダレ：平成23年12月19日開館) 中心市街地のにぎわい創出を目的に建設。 「文化ホール」「図書館」「交流活動施設」「教育学習施設」「店舗施設」「わいわいストリート」の6つのゾーンから構成される複合施設。</p> |
| <p>第8回懇話会 平成24年10月2日 13:30~</p> | <p>協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花巻図書館「キャッチフレーズ」について ・花巻図書館整備市民懇話会「提言書」について |
| <p>第9回懇話会 平成24年10月16日 13:30~</p> | <p>協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花巻図書館整備市民懇話会「提言書」について |

花巻図書館の現状と課題

H24.1.24 A班



施設の現状

書架が高く全体的に暗いイメージ

施設・設備が古い

建物の構造事態が心配

昭和48年の建物で古いという事(老朽化)で近代的・ハイブリット化には縁遠い

施設の老朽化

・開放感がない

・書架が少ない

(書庫に入っているものが多い)

・周辺環境が閉塞感がある

利用しにくい部屋の配置と感じた

フリースペースが欲しい

閲覧スペースが少ない

テーブル等の備品数が十分でない。
図書資料の更新が不十分である。
汚れ・傷みが目立つ

閉架図書が多く、利用者には自由に手に取る事が出来ない点では不便だと思う。

閲覧が不自由。三階の為か。

閲覧室は明るく(狭いが)快適な雰囲気

せまいゆとりがない

館内が狭いため展示・テーマ展等ができない

建物内が狭いため、リラクセスした環境ではない

とにかく狭く、利用しづらい点が多い

利用者、職員の動線を考えた時、使いづらい(狭い、古いなど...)

職員が仕事をするのに不便な所が多いのでは。

幼児、学生スペースの区別

子ども室が狭い。のびのびゆったリ本と接する空間が欲しい。

子ども室の独立性が必要

蔵書・資料

視聴覚資料の不足

・OPACによる検索と他館との連携は 便利である。

・視聴覚資料が少ない。CD・DVD

ビデオライブラリーは古くなりつつある。

CD・DVD等をもっと揃えては。

・中・高生向けの本が少ないし、コーナーも分けられていない。

・本だけでなく、そこから発生する、芸術文化等の

資料が豊富

・郷土関連書の多さ。

・新聞資料、郷土資料が思いのほか量があった。

・新聞の保存は今後も継続すべき。

・視聴覚サービスのスペースの拡充

・貴重な資料が保存されている(新聞、官報、郷土資料)

・蔵書が多く郷土資料も充実。

・蔵書が多いが。

・試聴できない(ブースがない)

専門書の不足

・デジタルデータの不足

・「賢治」の資料が分散しているのではないか。(記念館等との連携)

・業界紙、専門書の不足。

・仕事に役立つ資料を求める資料も必要ではない

運営・サービス

購入の流れ、又は中古の寄贈?

入館して、この図書館の目指す意図が表現されていない。(スペースの限界?)

書籍にたどりつくまでの時間
(見つけにくい)

読みたい本をすぐに見つけられない。
配置・書架の高さ

図書館サービスの発信が弱い

図書館の情報公開

読みたい本がすぐ手に入らない。
購入冊数

施設開放時間もと長く

開館時間の工夫。仕事帰りにも立ち寄れるように。

利用冊数が5冊。10冊まで借りられないか。

職員体制について。
臨時職員ではなく、正規職員の配置

立地条件

駐車スペースが少ない

・駐車スペースが狭く不便
特に悪天候の日、文化会館で催し物がある時。

・駐車スペースが少ない。

・駐車場が狭い

・駐車場、駐輪場の少なさ

・冬場玄関前は凍りついた状態で

環境が良い

・良点 学校の近くである

・場所が良い。ぎんどう公園、文化会館に隣接。静かな環境。交通について(アクセ

アクセスが悪い

・アクセスが悪い

・交通について(アクセス)
バス停の位置
(文化会館兼用があるのが良い)

・立地条件が悪い

障がい者・バリアフリー

施設、階段の中、こう配

階段を利用するのは、

バリアフリー化が立ち遅れてる

エレベーターがなく、

視覚・聴覚障害者の対策が不十分

障害のある方へのサービスが少ない

利用者の現状

現状(長所)親しみやすい

利用者のマナーの良さ

高齢者の利用者が多い

(熱心な)利用者が多いのでは

職員の対応には好感が持てる

ラウンジ・学習室など含めて、
よく利用されている感じを持った

花巻図書館の現状と課題

H24.1.24 B班

資料の収集・数・中身

- 地域の資料がすくないのでは？
- 賢治さんの資料・作品は十分なのか？
- 開架図書が少ない
- 地域文化を支えるところが少ない
- 一自治体として必要な資料を超えていない
- 郷土資料へのアクセスが不足
- 閲覧室の図書も郷土資料室と同じものを揃えたら。例えば町史のようなもの



- 思ったより色々な資料がある
- よく利用されている

せまい！

- せまい
- 1スペースがせまい
- スペースがせまい
- 新聞の閲覧コーナーがせまい
- 学習スペースが狭い
- 蔵書はあるが利用しにくい
- 児童室がせまい

冬の駐車場

- 冬場、入口前が凍って危険
(赤ちゃんを連れた親にとっては特に)
- 冬の駐車場の安全

ボランティア

- 市民ボランティアの活動が目に見えない



望む部屋の機能・仕様 (ハード)

- 勉強するための個々の机が少ない
- 施設内にゆったりした空間が少ない
- 荷物の置き場ない
- 東和図書館の様に喫茶店があれば良い
- 彩光が足りない(暗いイメージ)
- 視聴覚資料を見ることができない
- 駐車場の利便が悪い
- 十アルファの活動をする空間が欲しい
- 読み聞かせ専用室がない
- まわりにもう少し緑が欲しい
- 内装に温かみが必要
- 本の棚が高すぎる
- 玄関の北向きは来館者に不快を感じさせる
- 広いスペース
- 広い駐車場であって欲しい

子ども室よい！

子ども閲覧室はともよい
(今ぐらいでもよい)

子ども室が一般と別になっているのがよい

各部屋の課題・関連性

2階での利用は年寄りにはづらい

書架と学習室が同じ階でない

幼児の部屋が隣の部屋と近すぎる

スペース割→複雑

子供室で子供の休むスペースが少ない

学習室での学習は他人の移動が気にな

スタッフのよさ・ブックスタートのよさ

新聞の永久保存は大変良い事で 私は知りま

子ども室が一般と別になっているのがよい

館の不便さを(ハード)、スタッフの工夫で(ソフト面)で補っている。(よいところ)

このスペースと建物で良く運営をしている

子どもたちが利用する時、スタッフの人々が親

ブックスタート実施以来、ニーズに応えようと努

バリアフリーを！

バリアフリーになっていない

バリアフリーが不足

巡回図書を！

巡回図書対策を円滑にして欲しい

場所が分かりにくい

場所が分かりにくい

どこに図書館があるのか

図書館のイメージ

改築等を行いあとは、

現状の使用法と建物が合致していない

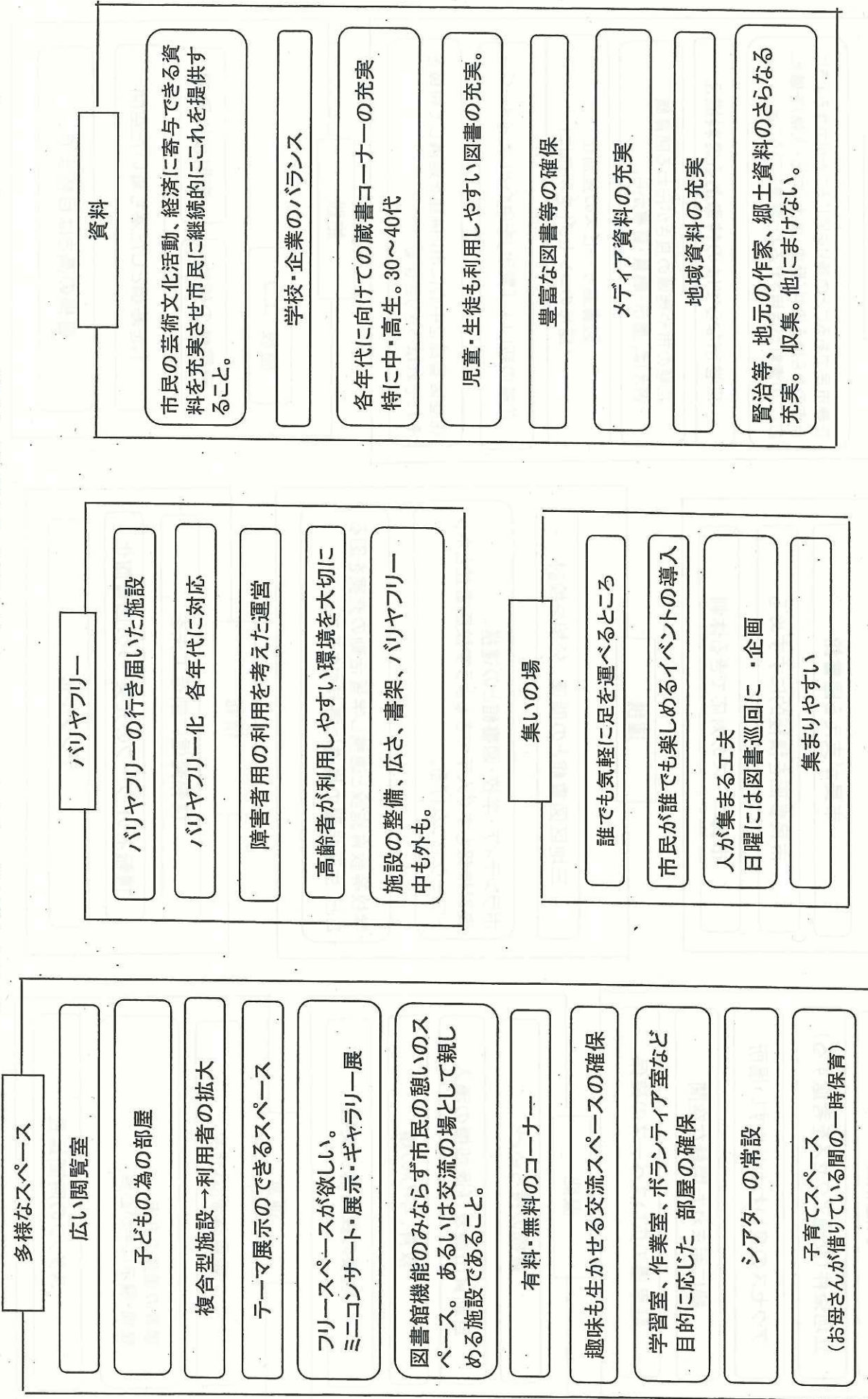
建物自体、魅力に乏しい

図書館とが思えない現状で本が可哀想

1階入り口に案内係が欲しい

花巻図書館の基本コンセプト(目指す図書館の姿)

H24.1.24 A班



多様なスペース

広い閲覧室

子どもの為の部屋

複合型施設→利用者の拡大

テーマ展示のできるスペース

フリースペースが欲しい。

ミニコンサート・展示・ギャラリートーク

図書館機能のみならず市民の憩いのスペース。あるいは交流の場として親しめる施設であること。

有料・無料のコーナー

趣味も生かせる交流スペースの確保

学習室、作業室、ボランティア室など目的に応じた 部屋の確保

シアターの常設

子育てスペース
(お母さんが借りている間の一時保育)

バリアフリー

バリアフリーの行き届いた施設

バリアフリー化 各年代に対応

障害者用の利用を考えた運営

高齢者が利用しやすい環境を大切に

施設の整備、広さ、書架、バリアフリー中も外も。

集いの場

誰でも気軽に足を運ぶところ

市民が誰でも楽しめるイベントの導入

人が集まる工夫
日曜には図書巡回に・企画

集まりやすい

資料

市民の芸術文化活動、経済に寄与できる資料を充実させ市民に継続的にこれを提供すること。

学校・企業のバランス

各年代に向けての蔵書コーナーの充実
特に中・高生。30～40代

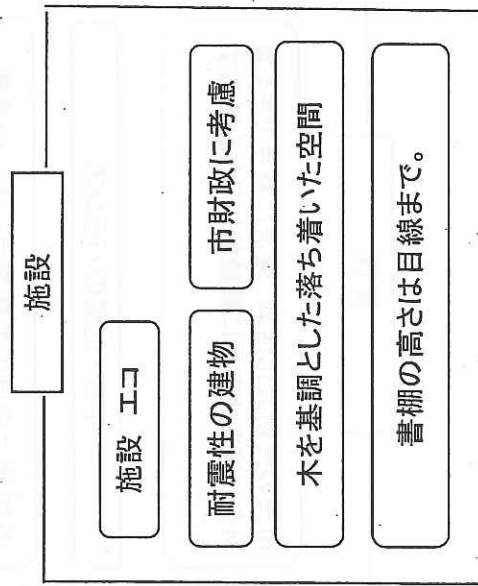
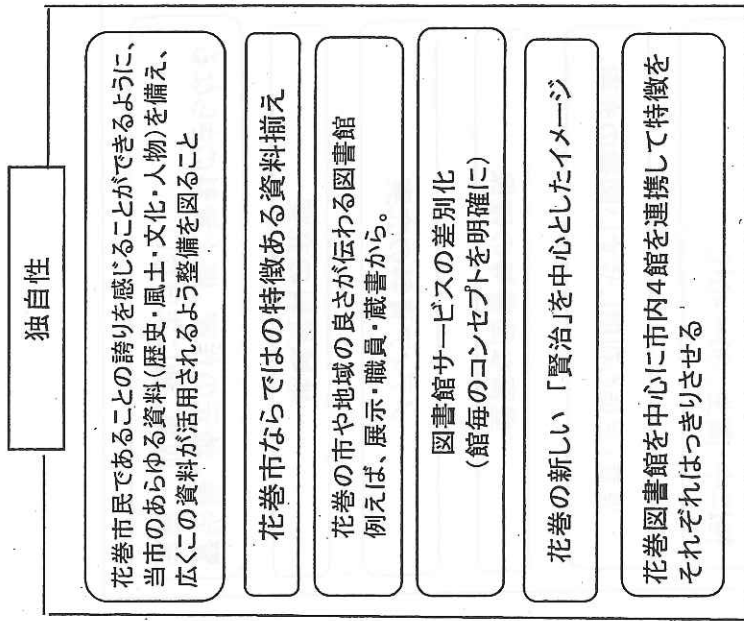
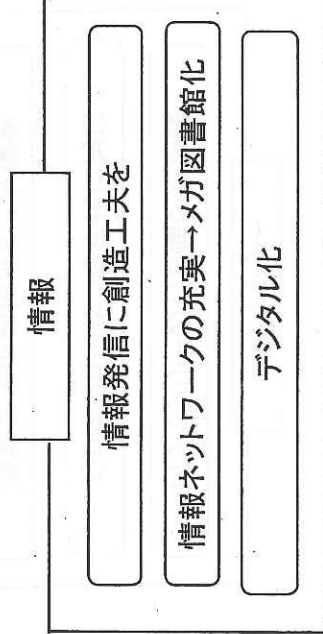
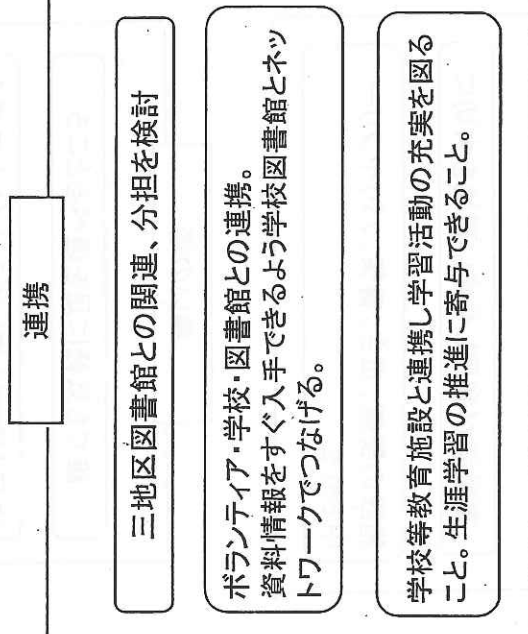
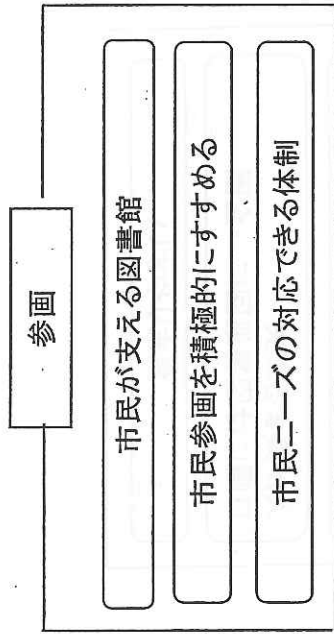
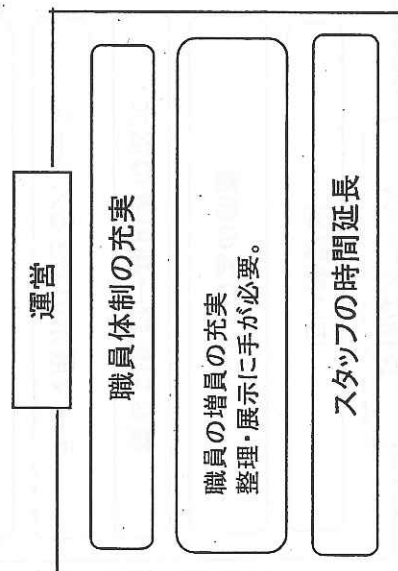
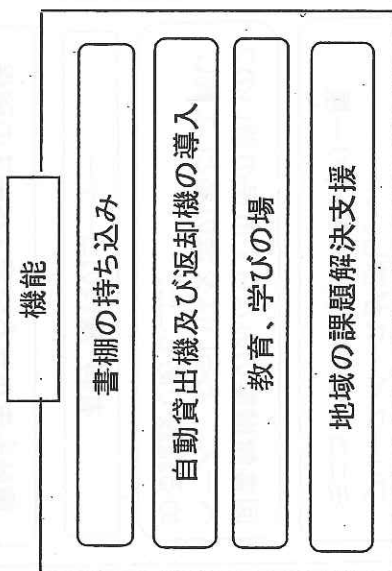
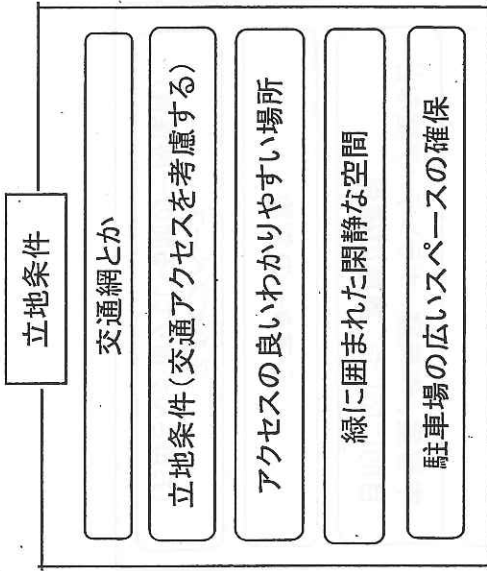
児童・生徒も利用しやすい図書の充実。

豊富な図書等の確保

メディア資料の充実

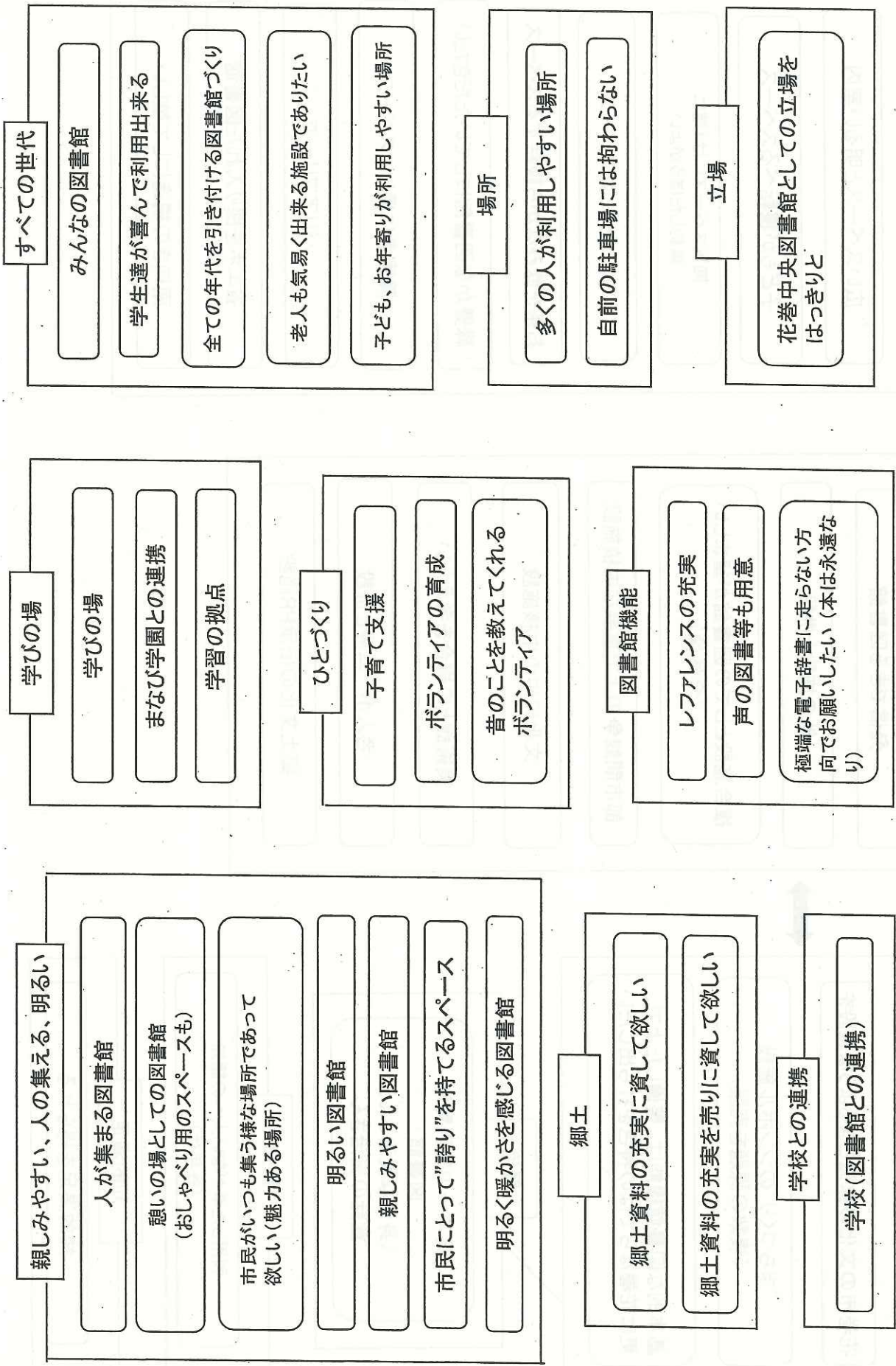
地域資料の充実

賢治等、地元作家、郷土資料のさらなる充実。収集。他にまけない。



花巻図書館の基本コンセプト(目指す図書館の姿)

H24.1.24 B班



シンボル(まちづくり・花巻の)

花巻市の文化の象徴となるような施設を

”まちづくり”のシンボル施設
(複数の課題を克服)

基本的な図書館機能は、整備した上で、
更に花巻ならではの特色を打ち出したい

賢治

日本一の宮沢賢治
図書館
(身近な賢治さん)
童話の賢治さん

認知

利用した事がない人への認知
(各年代)

知的満足

知的満足を得られる



発信できる図書館

他の施設と併設

複合施設としての図書館が望ましい
(全体像)

都市間競争の上で重要な中核施設

文化の中の中核施設

美術館との複合を考えたい

老人ホーム等と併設

郷土文化の伝承PR施設

建築上のコンセプト

広いスペースと明るい室内

子どもが寝転べるスペース

閲覧スペースには1階に
集約したほうがよい

ゆったりとしたスペース

お茶を飲みながら談話するスペース

緑豊かな図書館にしていきたい

障害者に優しいスペース

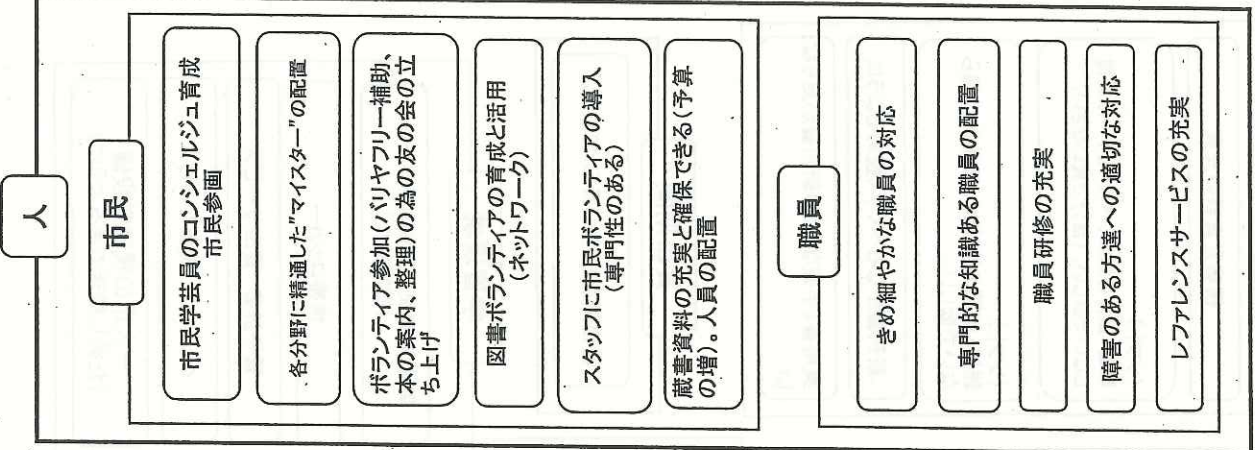
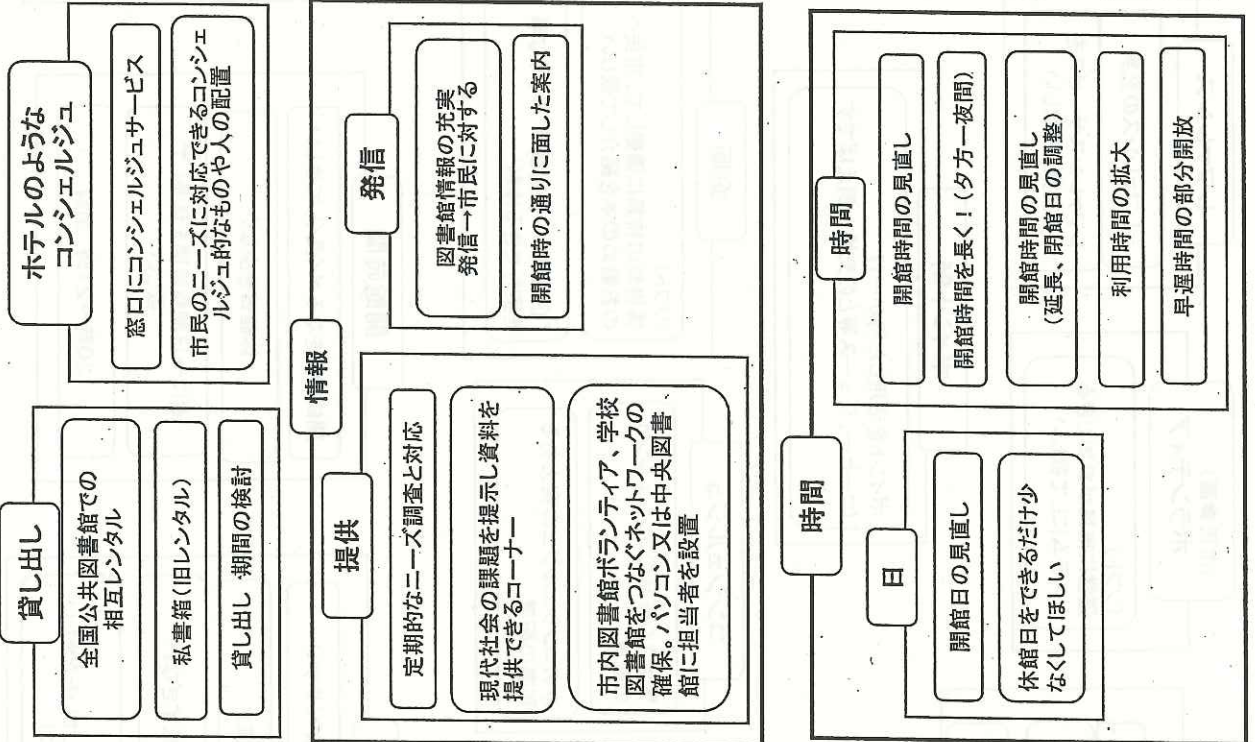
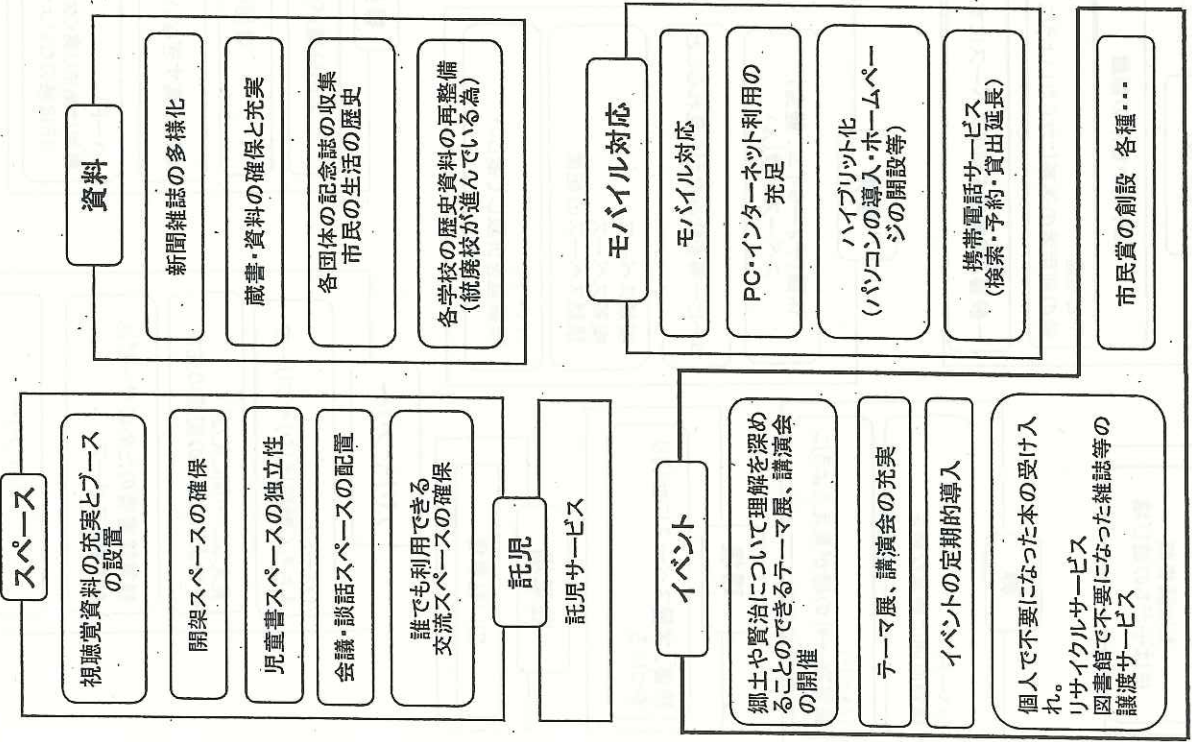
バリアフリーで

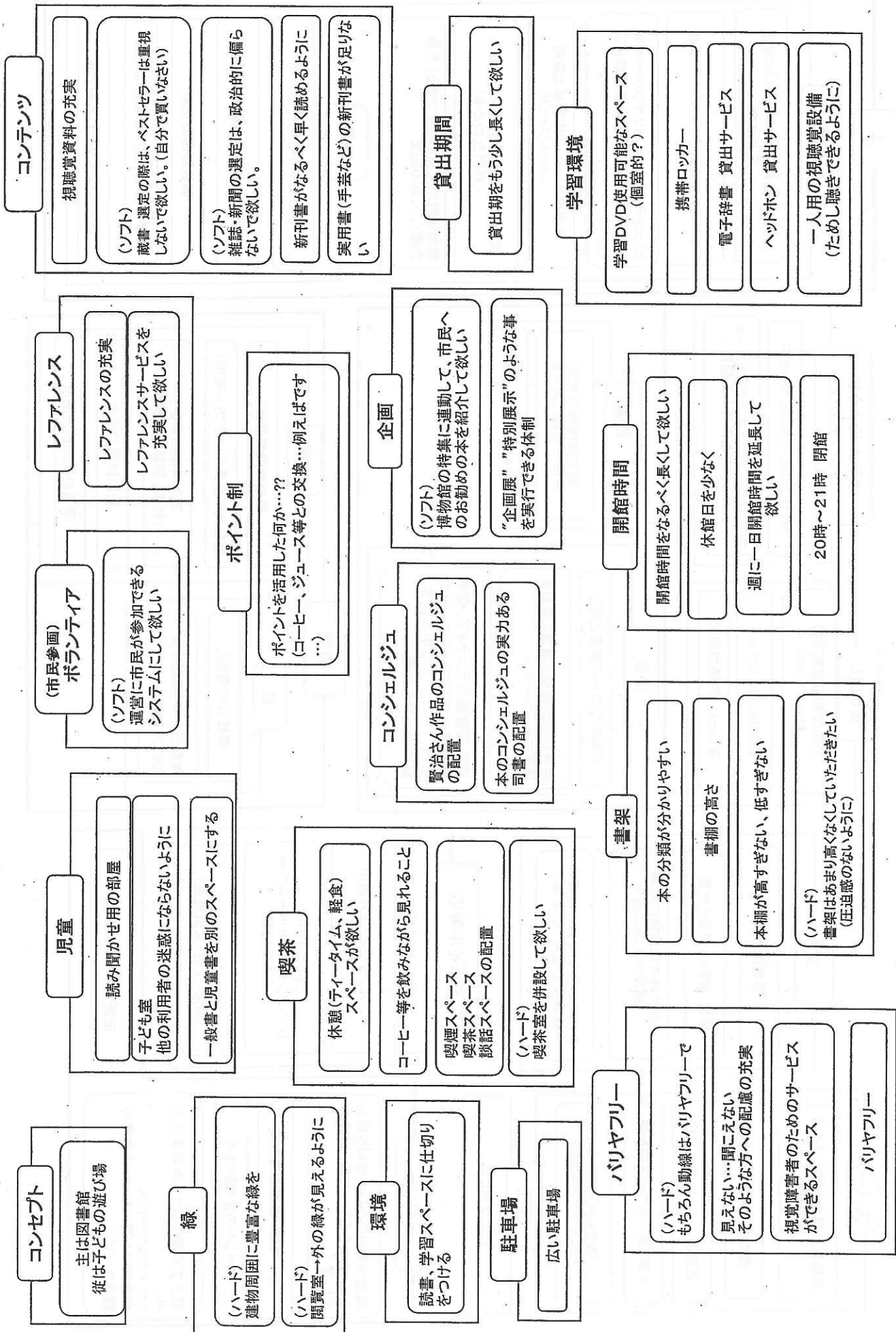
省エネを採り入れた図書館

南向きの構造にして欲しい

目指す図書館を実現するサービス

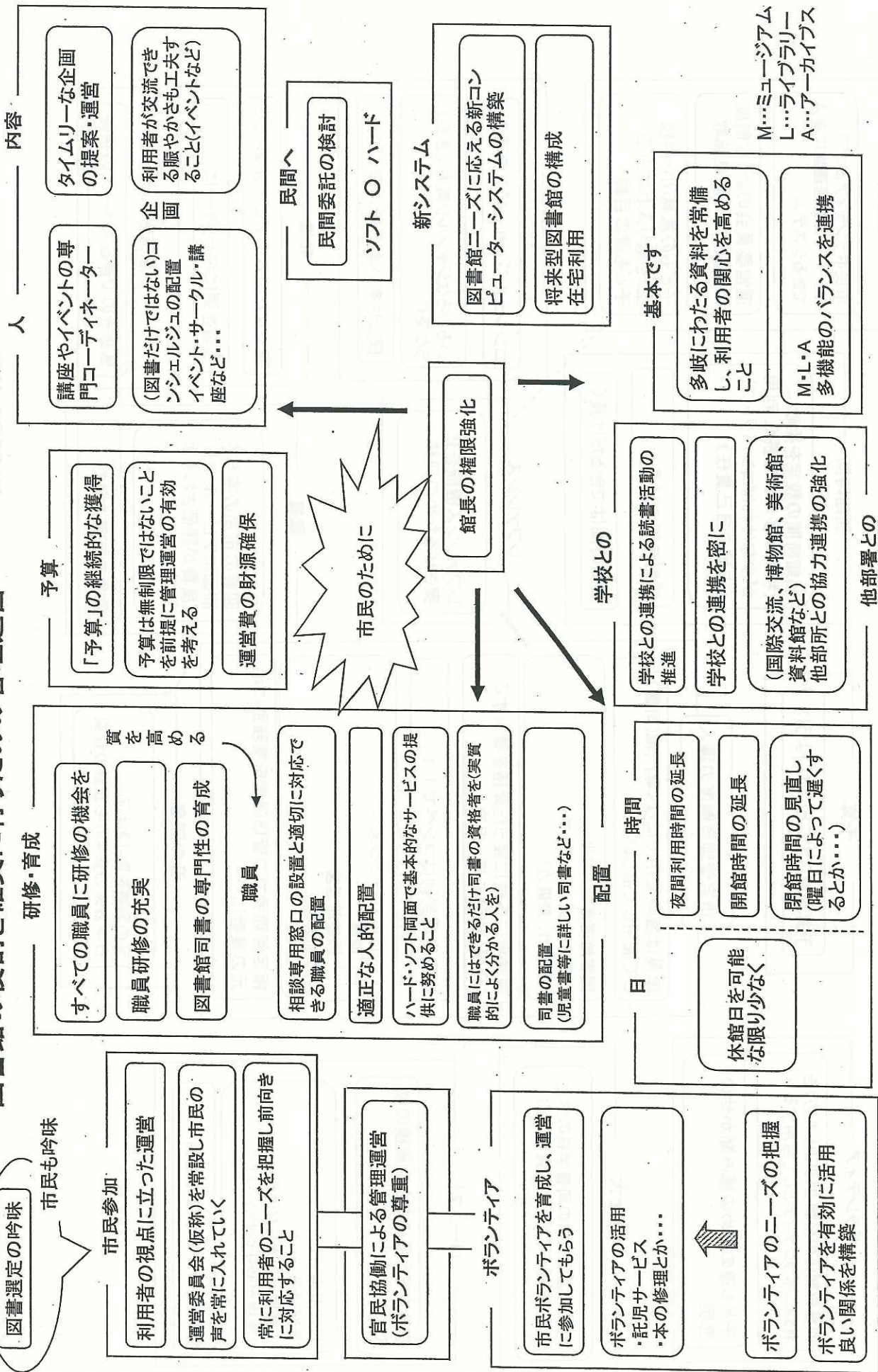
H24.5.8 A班





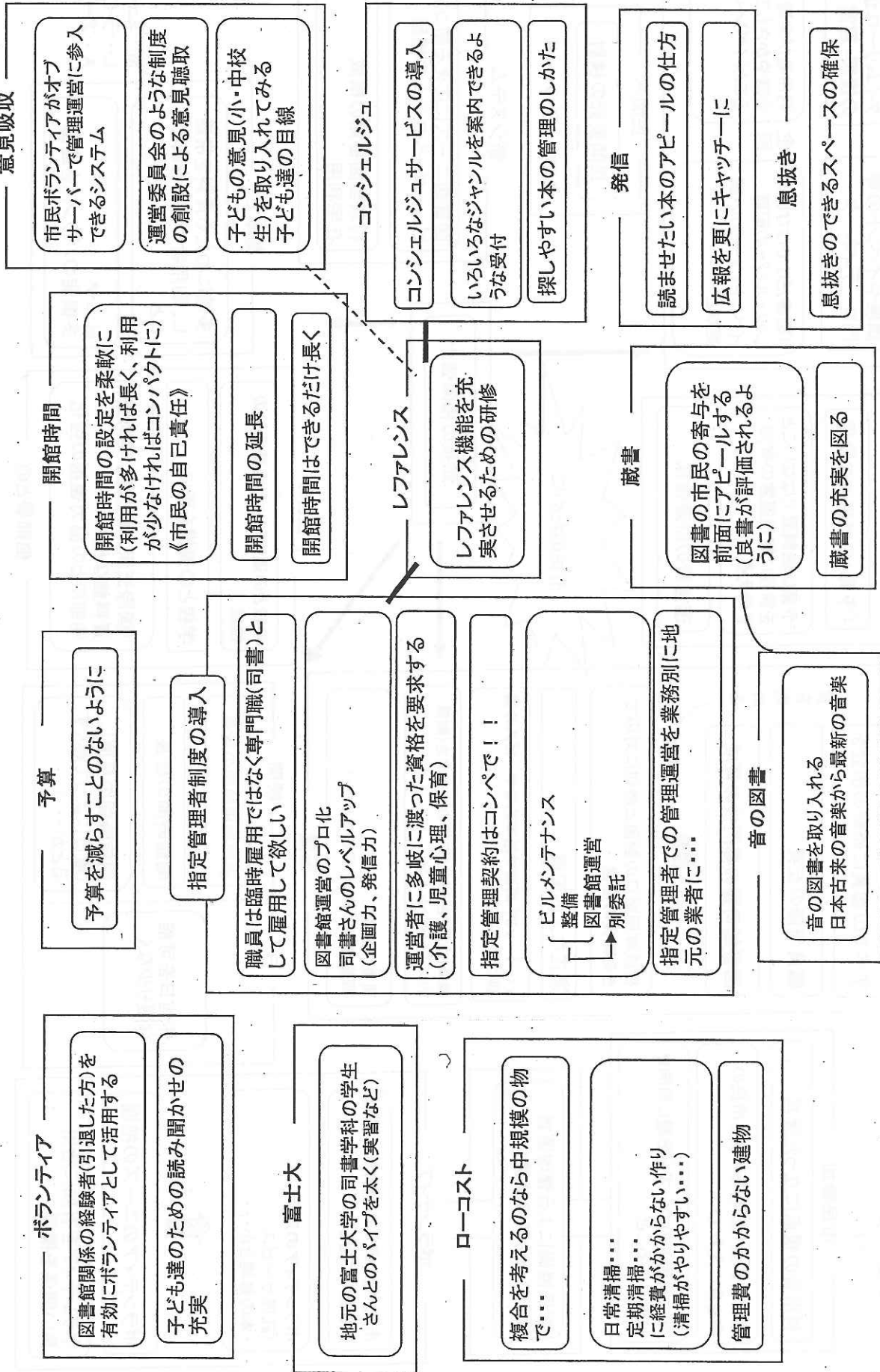
図書館の役割を確実に実行するための管理運営

H24.6.19 A班



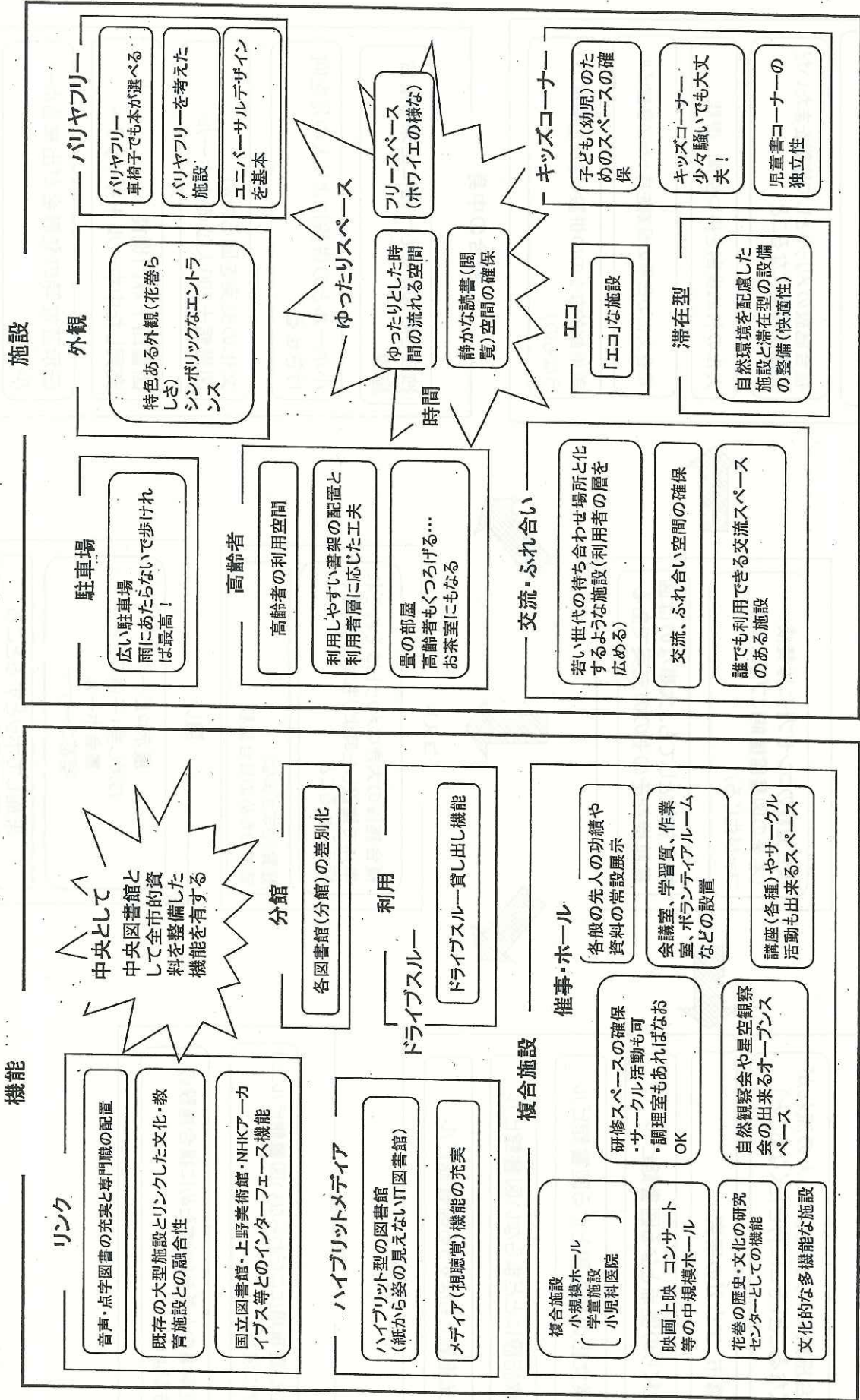
図書館の役割を確実に果たすための管理運営

H24.6.19 B班



目指す図書館を実現するための施設や機能(複合施設)

H24.6.19 A班



まちづくりに役立つ複合施設

複合施設のメリットとして、人の流れがよくなること(そこに行きたくなくこと)

青森市 アウガの研究

街づくりの拠点となる図書館ビル

産業文化の核施設とする図書館ビル

文教施設にとどまらない図書館ビル

観光施設ともなりうる図書館ビル

駐車場

広い駐車場にこだわらない図書館ビルエリアに注目

駐車場のムダをなくすために複合施設の方がよい

複合施設のコンセプトには賛成(本来の図書館機能にプラスアルファが生じる)

複合施設としても、大事なものは図書館機能そのものの充実である

コスト

複合施設の大きなメリットはそれぞれ単体で建設した時よりもコストが低く抑えられること

経費(さまざまな)削減のための複合施設

憩い

展示ロビー
お汚し室(子供等)
集会ホール
喫茶コーナー

来館してホッとするとところ

複合の自身

独立させながらも一緒に出来る複合施設

小ホールとの併設により人の足を向けさせる

文化の充実を図るため
図書館+500人位の中ホール

図書館+専門機能
充実した中ホール+ギャラリー

伝承芸能等の発表会が出来るホール

複合施設のメリットとしては、花巻の文化の象徴として目に見えるものがそこにあること

複合施設のメリットとして施設をまたいだ企画が可能になること

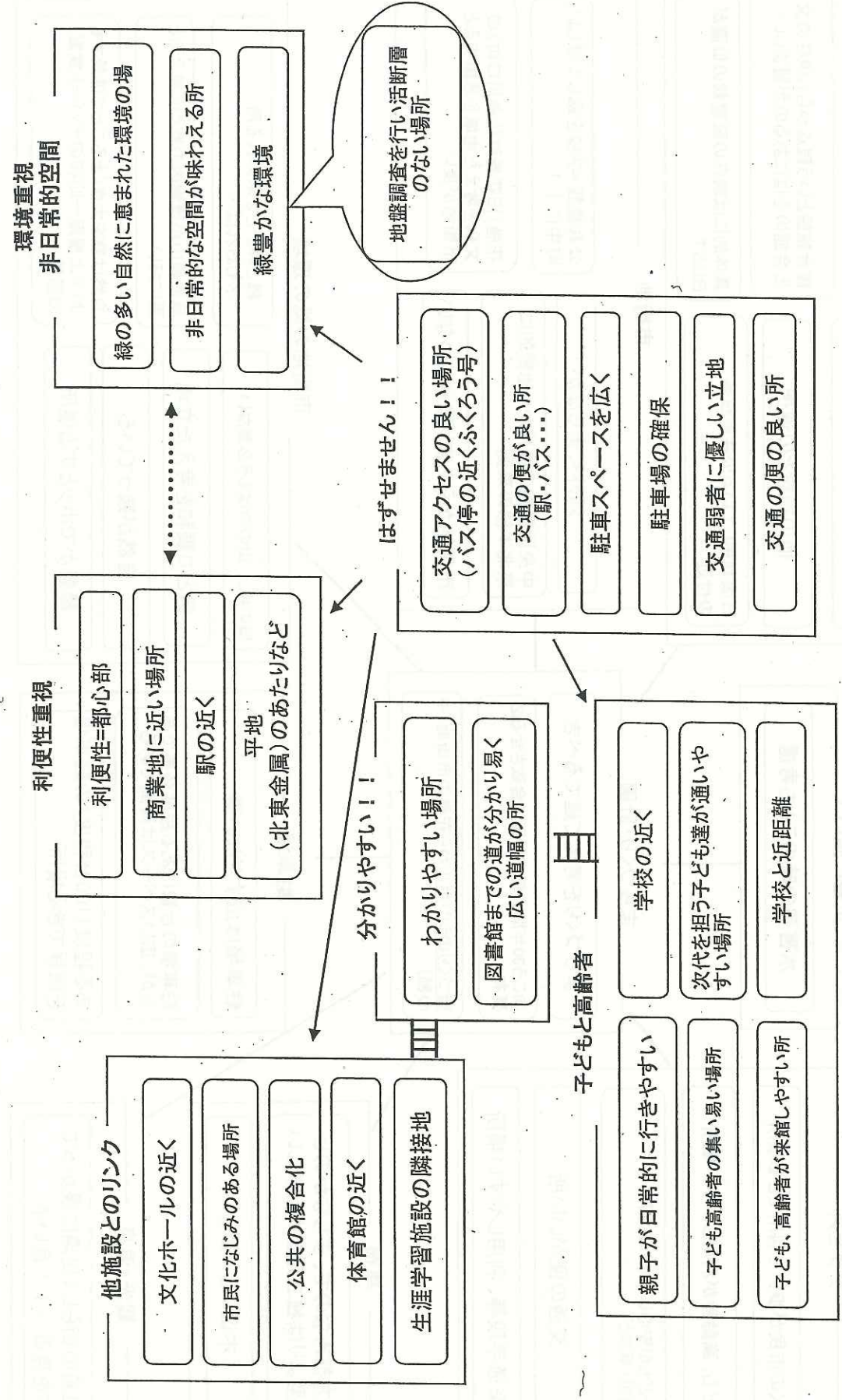
文化の村的役割を持つ空間、機能

花巻文化の伝承の役割を持った図書館ビル

美術館的なものの併設(特別企画展のよ
うなもの)

望ましい立地について

H24. 7. 10 A班



他の公共施設との関連

生涯学習都市会館(まなび)に近い

他の公共施設の近く

複合施設という観点からも現在の文化会館のそばにあるのが望ましい

具体的には現在の図書館の位置がBEST

他の施設との連携

日頃利用している公共施設等の付近

災害に強い！

水害等の時のことも考慮

まちづくり計画

まちづくりを考えて建てるべき

向こう30年間の都市計画に合致させる必要

街づくりのシンボルから花巻の市街地(中心部)

市街地

郊外くまちなか

中央図書館の性格から地勢的に東北本線の東側

市街地からあまり離れていない

公共施設・学校を返して欲しい。町中に！！

花巻(旧花巻町花巻川口町)の文化を考えた地域を意識すると市街地が良い

建物

地方都市なので、まちなかのビル型よりは独立建屋が望ましい

木造にして欲しい

観光・温泉

温泉の街らしく足湯に浸かって本を見る…！！良いネ

市街地の緑の環境

田の中、山の中はもう必要ない

緑と静かさを求めれる所 水もあれば…

緑との調和を考えた立地

自然が残っている

緑豊かでホッとする場所

早池峰山が建物内の窓から見えると更に好い

自然は窓を大きくとることで借景でもよい上層階一昭和のデパート食堂の感覚)

駐車場

駐車場は広すぎない事

駐車場の台数はある程度必要であるが、広いスペースは疑問である

ある程度(100台程度)の駐車場を確保できる場所

おらほ



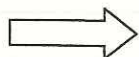
おらが、おれの、おらの（おれらの意味）
若い人からは抵抗がある言葉

知と文化の泉



文化的、情報的な拠点 ここに来ればわかる

花咲く（ひらく）まちの希望館



花巻らしさ

知（知識）と和の泉



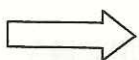
元気をもらえる温かい気持ちになる「和」
を加えて

豊かな時がここにある



知識や交流を求める豊かさ、一人で来ても団
体でも年齢差があっても各々が豊かな時間を
過ごせる場所であってほしい

いこいと学びの空間



心癒される憩いの場であってほしい

込みあがる知識～豊かな知識がここにある～

出会いの図書館～知と和の泉～



本とも人とも出会ってほしい、

歴史上の人物や作家など、出会えない人物とも本を通じて出会ってほしい、図書館
で学んだことによって未来の自分にも出会ってほしい

知識の泉 豊かな時間がここにある



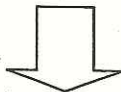
意見の中で出されている文言を
合わせて。図書館に求めるものは「心のやすらぎ」 豊かな森とか安らぎの森とか潤
いの森など「森」を使いたい。

親しみやすい言葉、年齢の低い子ども達も惹かれるような言葉

「図書館」は親しみ、いたわり、優しさが感じられる場所であってほしい

知の泉 やわらぎの森 豊かな心

「『知』＝知識（文化、教育）」 「『心』挑戦する心」 「人が集まる」3つのキ
ーワード。「未来」とあえて使わず未来に向かって挑戦する心というイメージ。3つ
のセンテンスで表した。



知の泉 豊かな時間（とき） 出会いの広場

○知の泉：一生懸命本を読んでいる姿

○豊かな時間（とき）：親子連れがゆったりした時間を過ごす

○出会いの広場：いろんな人が出会える

} イメージ

花巻図書館整備市民懇話会委員名簿

| NO | 区 分 | 氏 名 | 所 属 団 体 等 |
|----|---|---------|--------------------------|
| 1 | 第1号委員 公共的団体 から推薦さ れた者 | 高 橋 宏 史 | 花巻市PTA連合会会員（花巻中学校PTA副会長） |
| 2 | | 伊 藤 達 也 | 社団法人 花巻青年会議所理事長 |
| 3 | | 菅 野 直 人 | 花巻市老人クラブ連合会副会長 |
| 4 | | 藤 井 公 博 | 花巻市身体障害者福祉協会会長 |
| 5 | | 佐 藤 洋 子 | 花巻市地域婦人団体協議会 |
| 6 | 第2号委員 図書ボラン ティア団体 から推薦さ れた者 | 坂 本 知 彌 | もじもじクラブ |
| 7 | | 吉 田 幹 子 | 図書ボランティアたんぼぼの会副会長 |
| 8 | | 佐々木さつき | アイン・ブーフ |
| 9 | | 門 馬 優 子 | 民話紙しばいグループまんだげら代表 |
| 10 | 第3号委員 知識経験を 有する者 | 佐 藤 寧 | 知と芸術の「森」研究会会長 |
| 11 | 第4号委員 市民からの 公募による 者 | 白 藤 祐 三 | 公募 |
| 12 | | 佐 藤 忠 司 | 公募 |
| 13 | | 金 子 千 鶴 | 公募 |
| 14 | | 菊 池 豊 | 公募 |
| 15 | | 熊 谷 恵 | 公募 |

花巻図書館整備市民懇話会設置要綱

(設置)

第1条 「(仮称)花巻図書館建設基本計画」を策定するに当たり、花巻図書館の機能及び将来の在り方について広く市民の意見や考えを反映するため、「花巻図書館整備市民懇話会」(以下「懇話会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 懇話会においては、次の事項について市民の立場から検討を行う。

- (1) 市立図書館の現状と課題に関する事項
- (2) これからの図書館サービスの在り方に関する事項
- (3) これからの図書館運営の在り方に関する事項
- (4) これからの図書館整備の在り方に関する事項
- (5) その他市長が必要と認める事項

2 懇話会において行われた検討の内容は、花巻市長に報告し、「(仮称)花巻図書館建設基本計画」の策定の参考とする。

(組織)

第3条 懇話会は、委員15名以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 公共的団体から推薦された者
- (2) 図書館ボランティア団体から推薦された者
- (3) 知識経験を有する者
- (4) 市民からの公募による者 5人以内

(任期)

第4条 委員の任期は、委員委嘱の日から第2条第2項に規定する報告のあった日までとする。

(座長及び副座長)

第5条 懇話会に座長及び副座長1人を置き、委員の互選により定める。

- 2 座長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 副座長は、座長を補佐し、座長が事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇話会の会議は、座長が招集する。

2 座長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明を求め、又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 懇話会の庶務は、まちづくり部生涯学習課において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営に関して必要な事項は、座長が懇話会に諮って定める。

附 則

この告示は、告示の日から施行する。

